

# 第1回 佐渡市ケーブルテレビ リニューアル検討懇談会



日 時：令和5年9月28日（木）10:00～12:00

場 所：佐渡市役所会議室棟 第2会議室

佐渡市  
総務部総務課  
デジタル政策室



1. 懇談会設置の趣旨
2. 委員紹介
3. 現状・課題認識
4. 懇談会での協議事項
5. 進め方（案）
6. その他（事務連絡等）





# 1. 懇談会設置の趣旨



## 趣旨

本市において、これまで長き渡り、市民に愛されてきたコミュニティネットワーク佐渡（以下、CNSと言う）を主とするケーブルテレビ事業について、昨今の技術革新や生活スタイルの変容、ケーブルテレビ事業を維持・継続する上の課題を踏まえ、今後の事業の在り方や方向性・計画の策定に向け、関係者等から意見・助言等を求めるため、佐渡市ケーブルテレビリニューアル検討懇談会を設置する。

### ● 意見等を求める事項

- 佐渡市が運営するケーブルテレビ事業に関する今後の方向性や移行計画の策定に関すること。
- 上記の他、佐渡市のケーブルテレビ事業に関連し、市民への情報配信に関し市長が意見等を求める必要があると認める事項。



## 2. 委員紹介



### 3. 現状・課題認識

# 佐渡市ケーブルテレビの更新に関する背景・経緯



佐渡市のケーブルテレビ事業（以下、佐渡市CATV事業）は、開局以来約20年が経過  
設備の老朽化が進んでおり、安定したサービスの提供のためには、設備の全面更新が急務な状況  
インターネット・緊急情報システム・消防通信・イントラネットワークの設備として活用しており、  
CATV事業の維持・継続とあわせて検討する必要がある

情報格差の是正、テレビ難視聴地区の解消  
を目的として、佐渡市が市営のケーブルテ  
レビ事業として**CNSテレビを開局**

20年近く経過した**羽茂地区**にお  
いて総務省の補助事業を活用し、枝  
線・末端の**光ケーブル化**が完了

平成20年

現在

平成16年

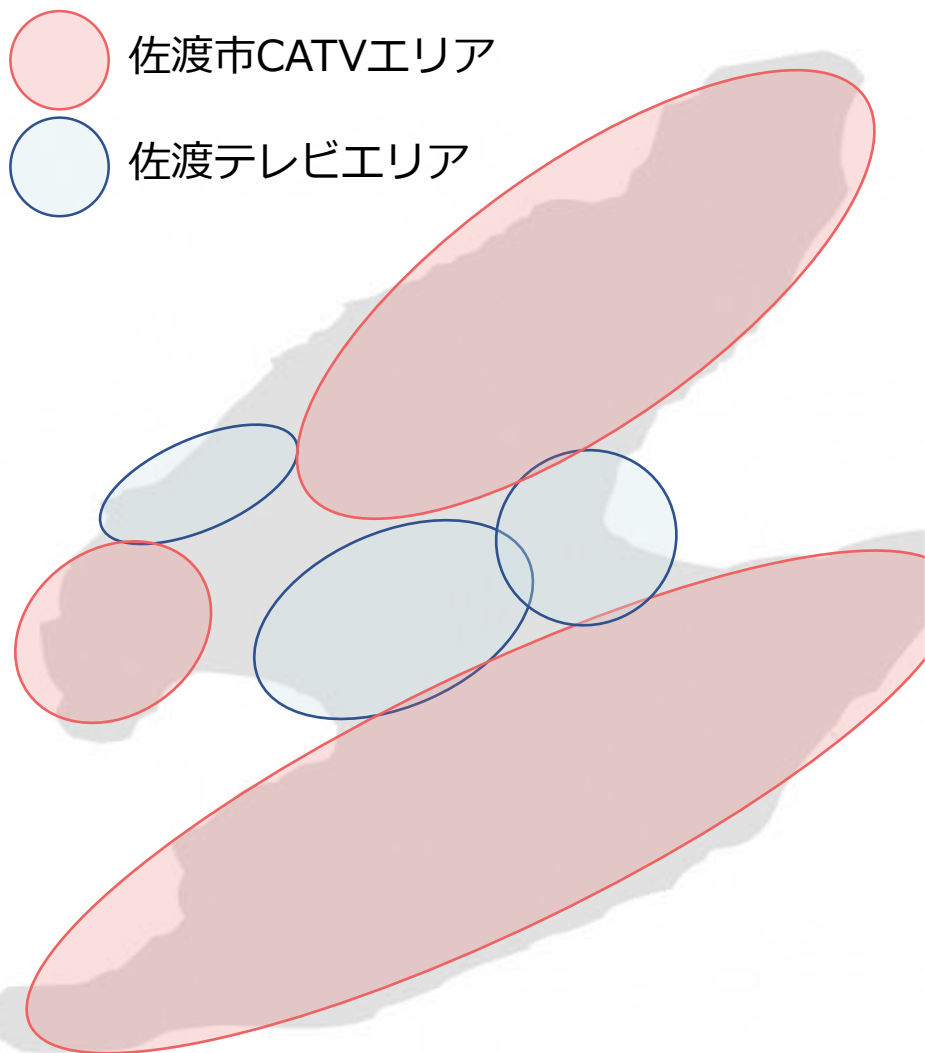
平成30年

佐渡テレビジョンのエリアを除く、  
**全てのエリアがCNSテレビ**とし  
て整備完了

羽茂地区を除く佐渡市CATVエリアでは、枝線・末  
端は同軸ケーブルとなっているが、**同軸ケーブ  
ルの映像配信機器は国内での生産が終了**  
しており、サービス継続・維持のためには、老朽化  
が進むケーブルテレビ**設備の更新が急務**な状況



- 佐渡市CATVエリアにおいて、難視聴エリアは全部で約245カ所存在しています。

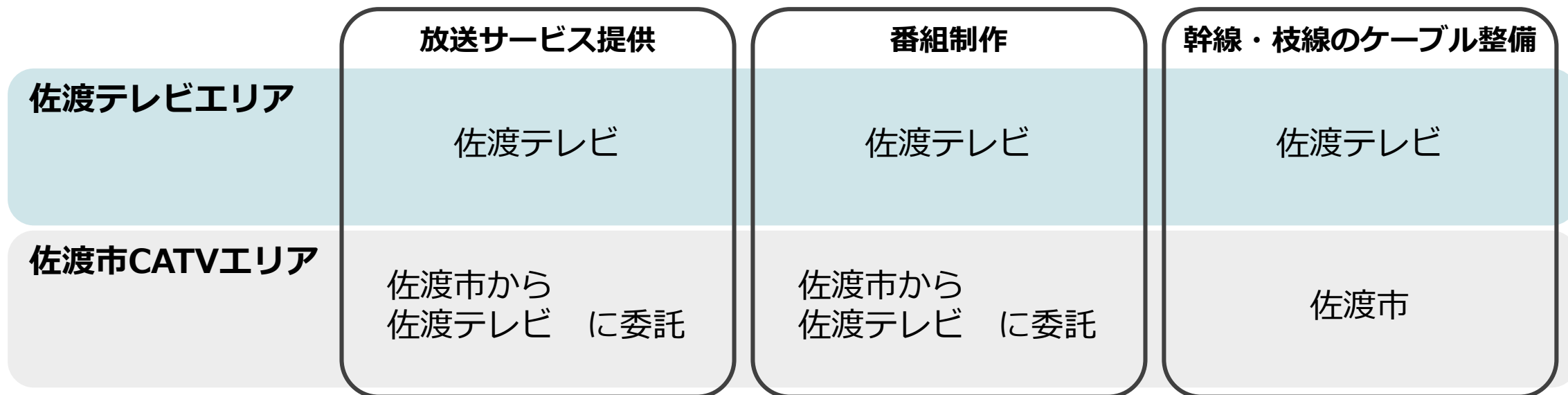


地区	行政区	難視聴世帯数
両津	白瀬、野浦、岩首、赤玉、鷲崎、藻浦、願、真更川	227
相川	大浦、高瀬、橋、稲鯨、米郷、二見、小川、達者、姫津、北秋、戸地、戸中、南片辺、北片辺、石花、後尾、高千、北田野浦、矢柄、関	1,277
佐和田	石田	41
新穂	潟上、内巻	4
畑野	大久保、上日向、下日向、日影、欠向、上中佐為、下中佐為、岩根沢、鳥越、野田、長谷、浦ノ川内、浜河内、丸山	157
真野	金丸、新町、滝脇、背合、東大須、静平、下黒山、小川内、真野、大立、倉谷、田切須、高塚、笹川、西三川、高崎、椿尾	487
小木	学校町、末広町、本町、諏訪町、白坂町、中町、中立町、幸町、上町、稻荷町、琴平町、登町、相生町、東町、泉町、港町、小比叡、小木堂釜、井坪、小木大浦、上大浦、木流、田野浦、江積、白木、沢崎、深浦、犬神平、小木強清水、宿根木、琴浦、小木、小木金田新田、上野、鼓童村	764
羽茂	大峰、大平、梅、滝平中央、滝平下組、大崎第一、上越、向越、大崎中央、大崎下組、諏訪、鯨岡1~10、上山田上組、上山田中組、上山田下組、平、大草、木戸、天沢、天沢住宅、新倉、東仮屋、西仮屋、上大谷、下大谷、羽茂住宅、寺田、上町一/二/三、はもちの里、弥栄、須川、畑田、須川住宅、教員住宅、高校住宅、西方上、西方中、盛山、冬居、大橋中央、岩野、井尻、池田、共栄一/二/三、岡田、中平、大石山田、浜組、杉浜、更生、中浜、野崎、赤岩、八坂、池の平、入子、奥組、村山下組、亀脇、小泊1~10、二枚田	1,396
赤泊	大杉、新谷、天狗塚、山寺、東光寺、北袋、仏供石、横山、瓜生、徳和東、浅生、畝立、清水、鍛冶屋、草木、山田東/中/西/第一、外山、上川茂、下川茂茂東部、下川茂第一、下川茂中央、下川茂西部	389
合計		4,742





- 佐渡市CATVエリアにおける番組制作、放送サービスの提供は指定管理として佐渡テレビに委託



	111CH・113CH		112CH	
配信先エリア (契約先)	佐渡テレビエリア	佐渡市CATVエリア	佐渡テレビエリア	佐渡市CATVエリア
番組配信業務	佐渡テレビ	佐渡市 (佐渡テレビから購入)	佐渡テレビ (佐渡市より無償提供)	佐渡市 (佐渡テレビに委託)
番組制作	佐渡テレビ		佐渡市 (佐渡テレビに委託)	

# 現状の整理 各地区の最終整備時期と次期更新時期

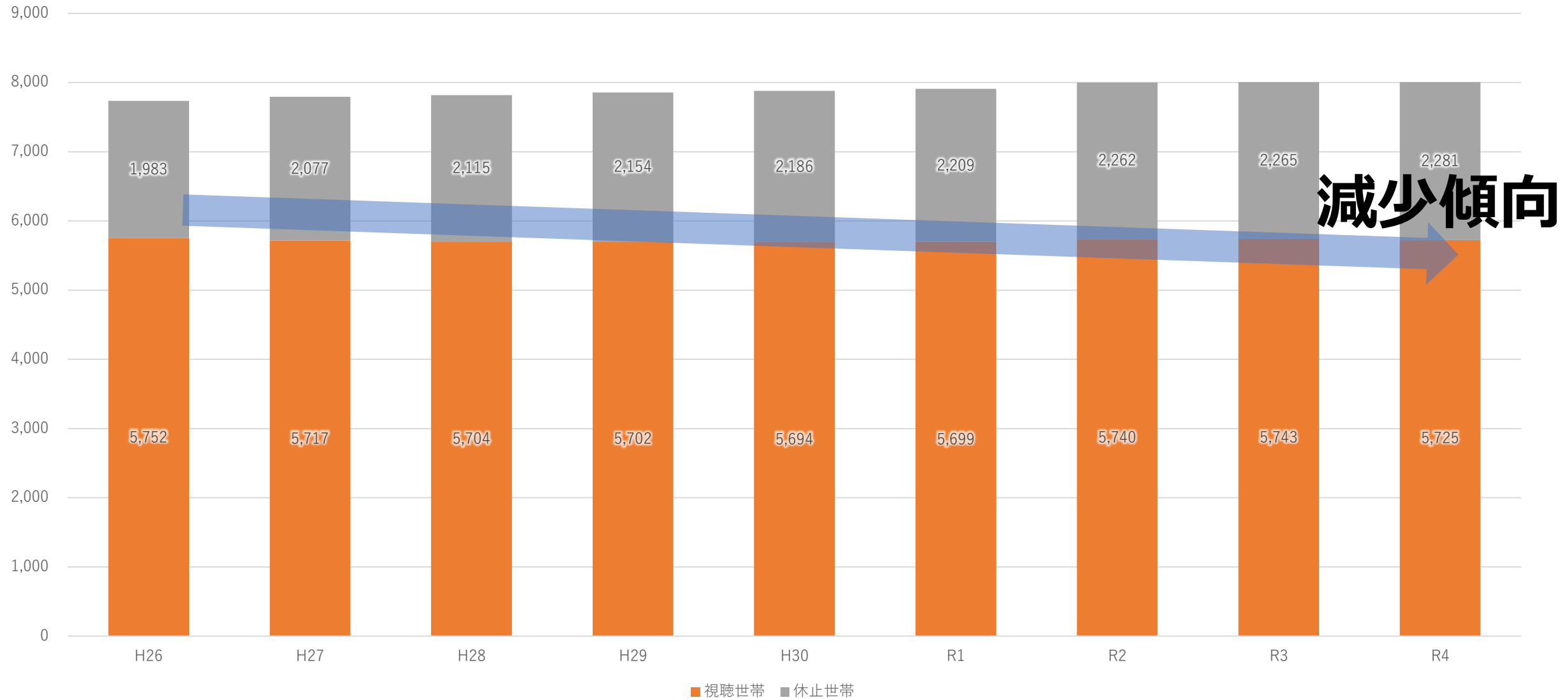


- 佐渡市エリアにおいては、羽茂地区以外の地区におけるケーブルテレビ設備が老朽化しており、令和5年度より順次更新が必要な状況

地区	最終整備時期	枝線までの光化完了	整備事業費負担元	次期更新時期	備考
羽茂	平成30・31年度	○	佐渡市	令和20年度	
佐和田	平成15年度		佐渡市	設計：令和5年度～ 工事：令和6年度～	
真野	平成15年度		佐渡市		
小木	平成15年度		佐渡市		
赤泊	平成15年度		佐渡市		
新穂	平成16年度		佐渡市		
両津	平成18～20年度		佐渡市		
相川	平成18～20年度		佐渡市		
金井	平成18～20年度		佐渡市		
畑野	平成18～20年度		佐渡市		



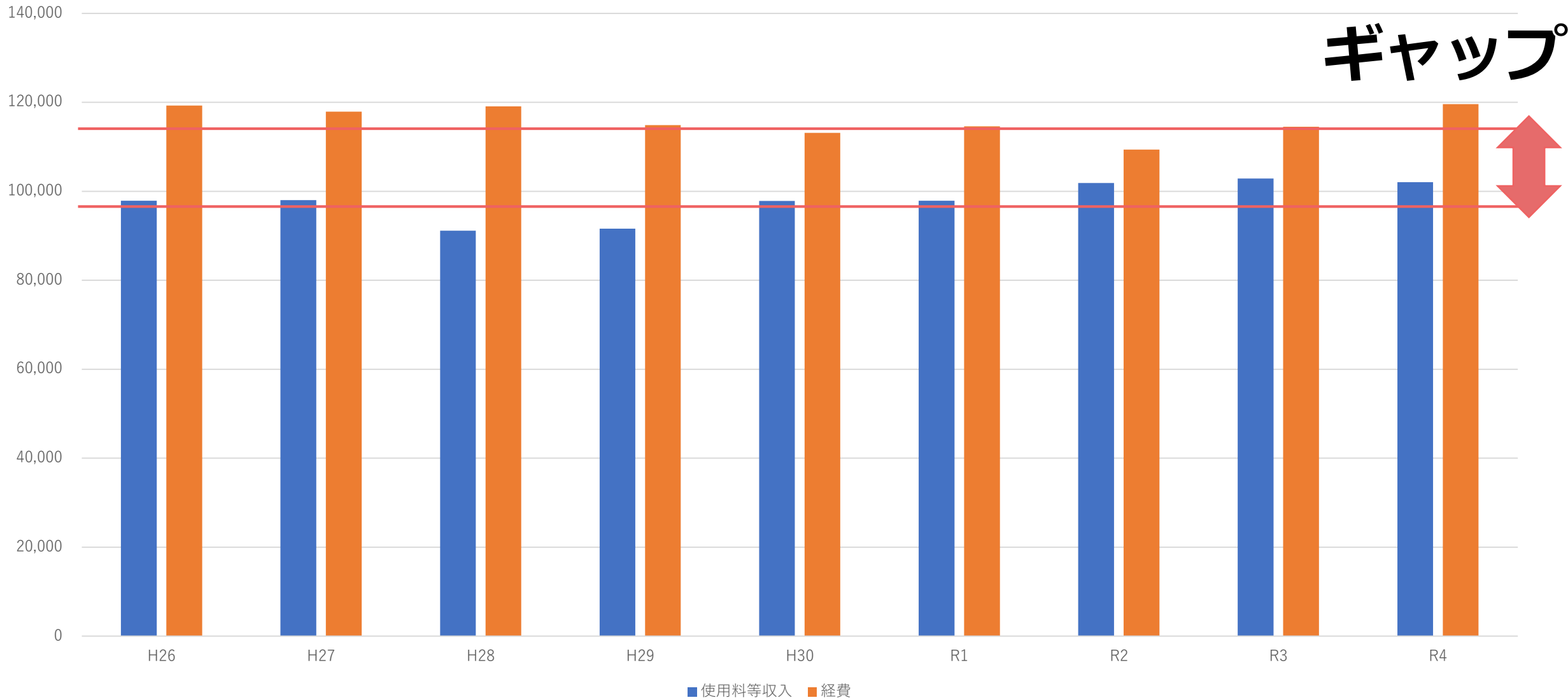
# 加入世帯数の推移



# CNS運営の収支（項目抜粋）

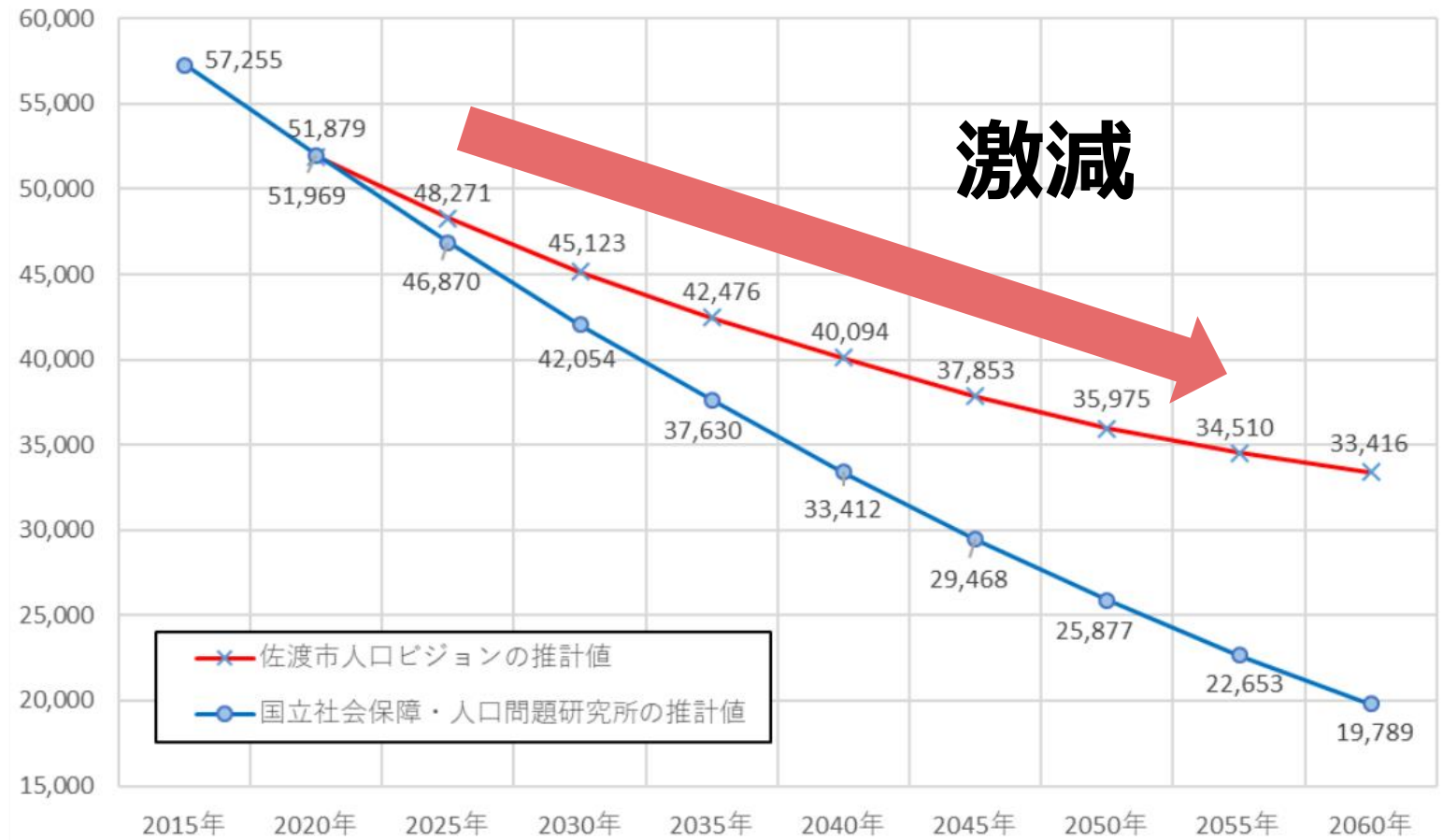


ギャップ





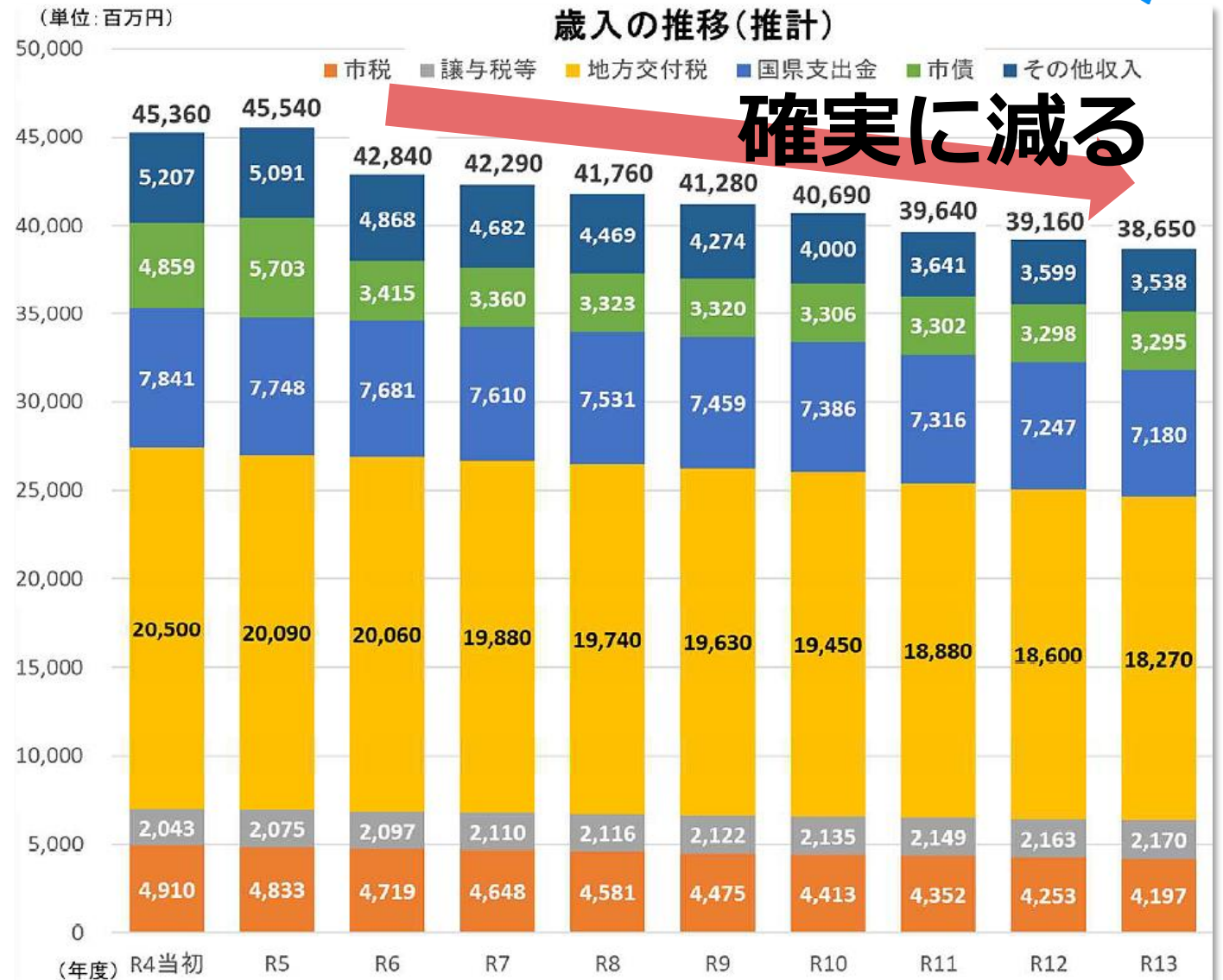
- 本市の人口は、2020（令和2）年時点で総人口が52,467人であり、2004（平成16）年3月の合併以降、年間約1,000人ずつ減少
- 2015（平成27）年時点の人口を基に国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）が公表した推計（2018（平成30）年3月）によると、本市の人口は、2040（令和22）年には33,000人程度、2060（令和27）年には、19,000人程度になると推計
- これは、前回の社人研推定人口よりも約5千人程度下回っており、人口減がさらに進行する見込み



# 佐渡市の財政状況・計画（歳入の推移）



- 市税…人口減少等に伴う個人市民税、法人市民税等の減少や固定資産税の評価替えによる減少を見込む。
- 地方交付税…普通交付税は、人口急減補正の減や市債の償還に係る交付税算入などを反映し減少を見込む。
- 市債…合併特例債を令和5年度に限度額まで発行し、その他の市債は、現行制度において交付税算入率の高いものを優先的に発行することで見込む。実質公債費比率に留意する。
- その他収入…財政調整基金繰入金の年次的な減少を見込むほか、他の基金繰入金についても基金残高を考慮し、減少を見込む。



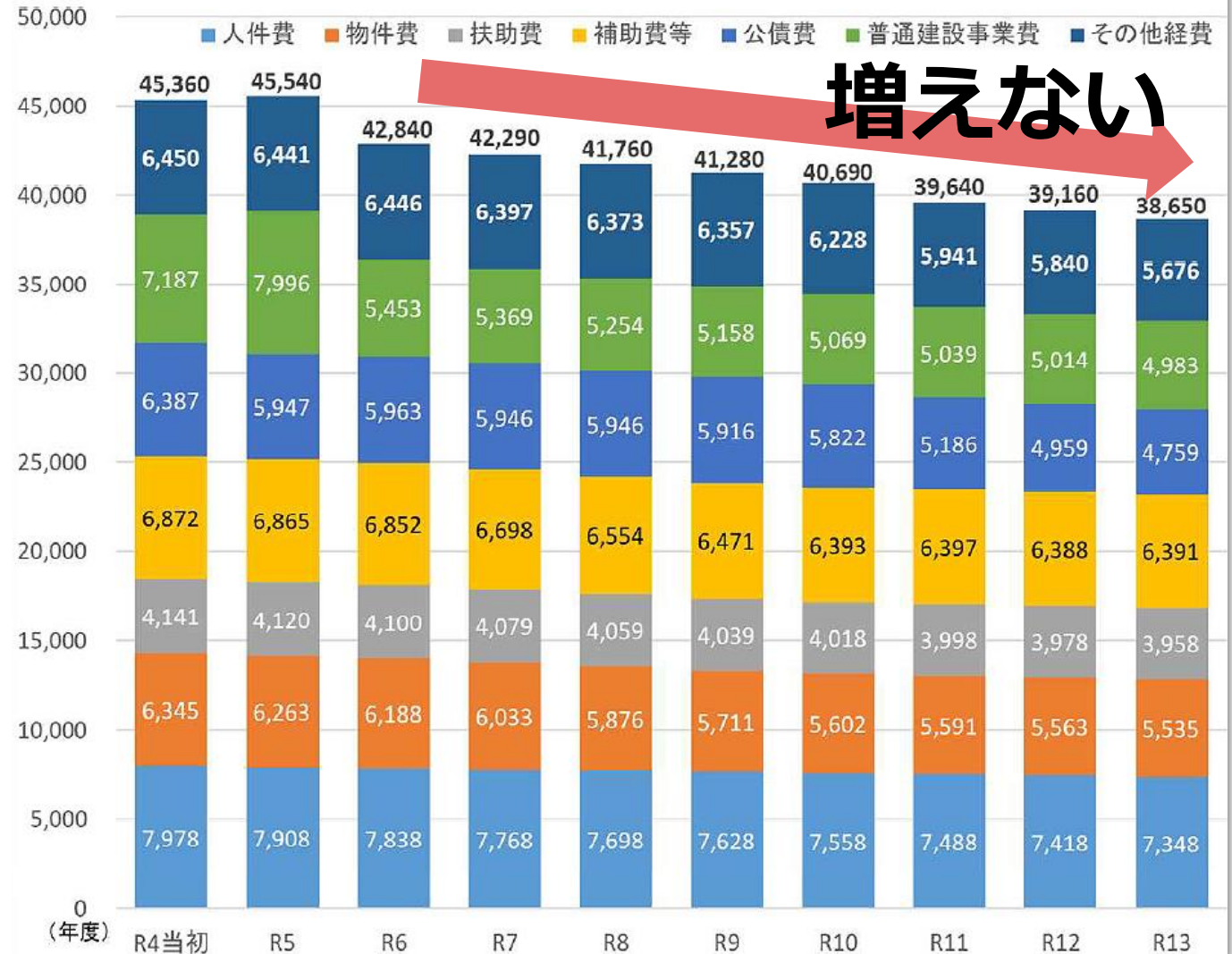
# 佐渡市の財政状況・計画（歳出の推移）



- 人件費…定員適正化計画を踏まえ、減少していくことを見込む。（特別会計等における人件費分は繰出金等での減少を見込む。）
- 物件費…歳入規模に見合ったものとなるよう、計画期間を通じて年平均1.5%程度の減少を見込む。
- 公債費…合併特例債事業等の普通建設事業費の減少に伴い、発行額の減少が見込まれることから、公債費においても減少を見込む。
- 普通建設事業費…合併特例債事業終了後の令和6年度以降は減少を見込むが、その他普通建設事業費は令和4年度と同程度を維持するものとして見込む。

（単位：百万円）

歳出の推移（推計）

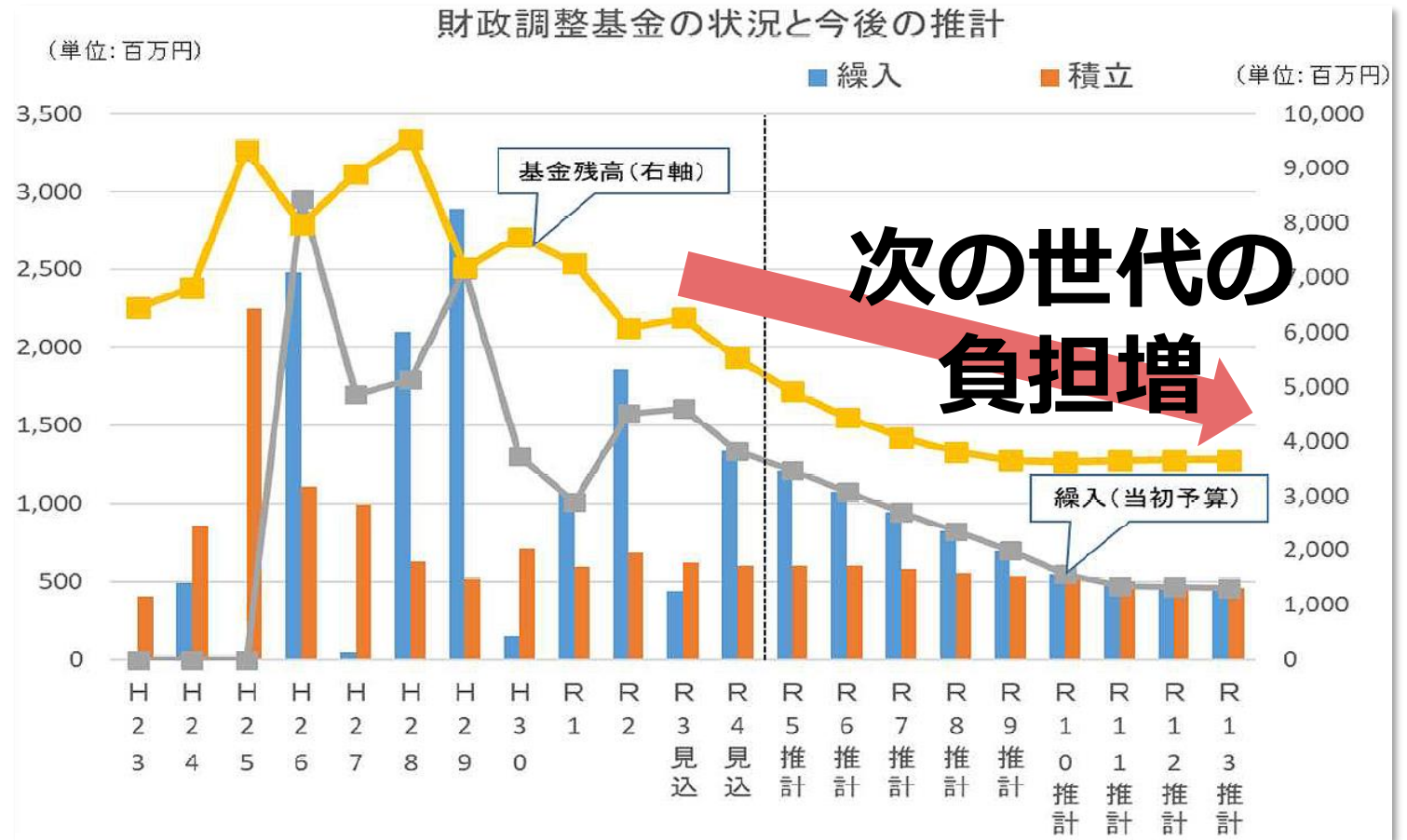




# 佐渡市の財政状況・計画（財政調整基金の状況と今後の推計）



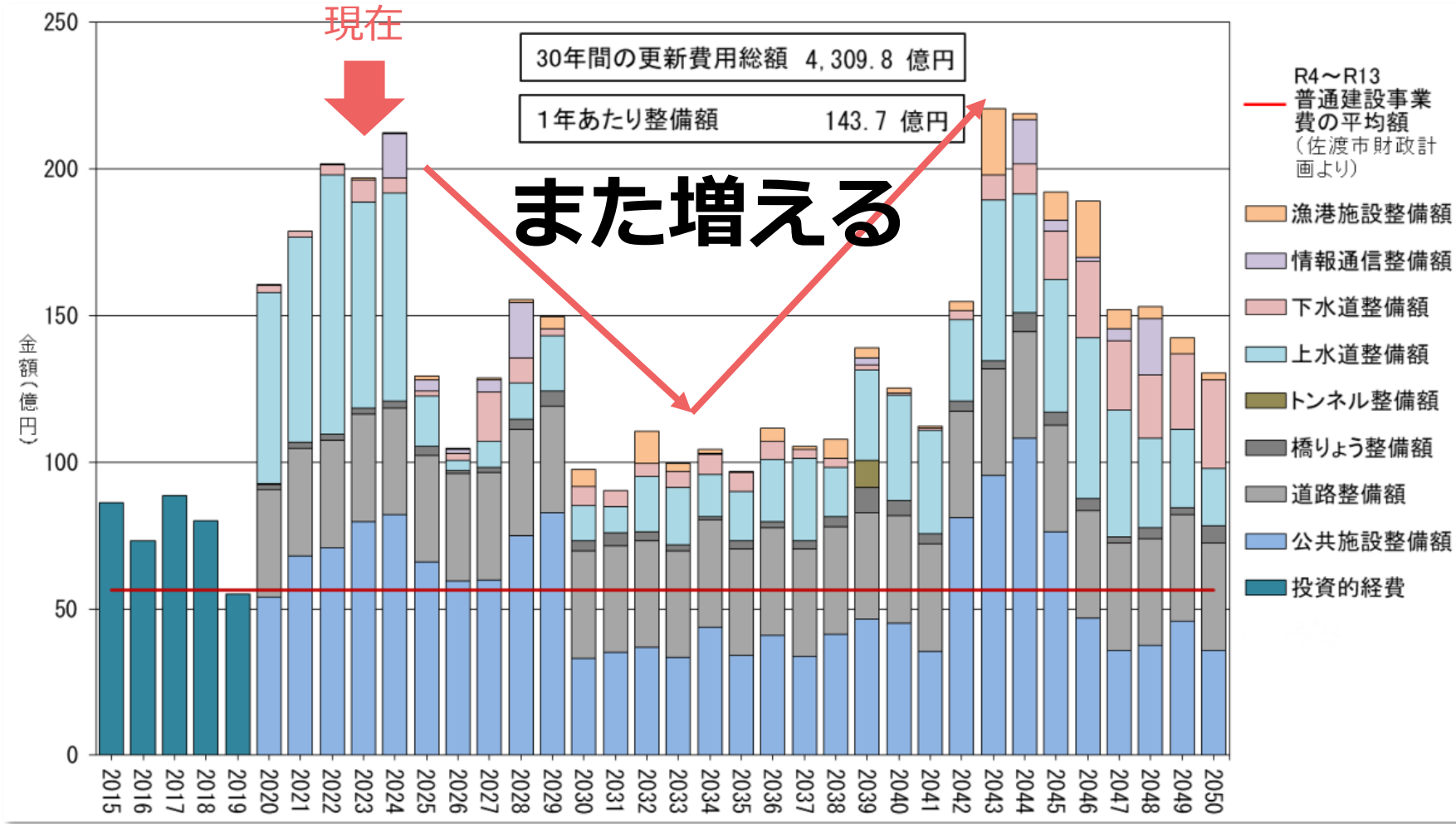
- 毎年の当初予算編成では、不足する財源を多額の財政調整基金の取り崩しで賄っており、この基調が続けば財政運営はより一層厳しくなる。
- このような厳しい財政状況下にあっても、新たな佐渡市総合計画を着実に推進しつつ、持続可能な財政基盤を維持していく必要がある。
- そのためには、更なる財源確保に加え、行財政改革の推進や事業の不断の見直し・改善により、限られた財源を効率的・効果的に配分していかなければならない。



# 公共施設及びインフラの整備額（公共施設の総合管理計画より）



- 本市が保有する公共施設及びインフラを合計した今後30年間の整備額の推計は4,309.8億円に達し、1年あたりの平均整備額は143.7億円
- 一方、財政計画の普通建設事業費見込額は年平均で56.5億円となっており、約2.5倍の経費が必要になると見込まれている





## 4. 懇談会での協議事項



- 現状、課題を踏まえ、懇談会は以下のポイントについて、議論したいと考えております。

## リニューアルの 方向性

佐渡市による光ファイバー化、NTT東日本の光ファイバー設備利用（VCAST方式）、その他手段による難視聴エリアの解消など、佐渡市の現状・将来を見据えてあらゆる方向性を議論した上で、方向性を見出したいと考えております。

## 加入者利用料金 設定

物価高騰や経済動向、他市での設定料金や必要となる経費等も鑑みながら、加入者の料金設定について、適正な価格帯を議論したいと考えております。

## 採算性確保に向 けた取り組み

加入料金だけでなく、広告料やコンテンツの販売など、活用可能な資源による新たな収入源の検討や、発生費用の低減策等を検討することで、採算性確保に向けた取り組みを議論したいと考えております。



## 5. 進め方 (案)

# 懇談会の実施時期と内容



- 全4回の懇談会を経て、リニューアル案（複数）の比較検討資料を完成させる。
- 本比較検討資料結果をもって、市民からの意見聴取等を行い、方向性を見出すこととする。

回	開催時期	内容	目標
第1回	令和5年9月	懇談会設置趣旨の確認 現状・課題認識の共有 懇談会での協議事項の認識合わせ 進め方（案）の合意	現状、課題の共通認識 進め方の合意
第2回	令和5年11月	他市事例、技術動向の共有 リニューアル案の出し合い 懸念事項・検討事項の意見出し	リニューアル案、懸念・検討事項の洗い出し
第3回	令和6年1月	リニューアル案における検討事項の協議	課題・検討事項の共通認識
第4回	令和6年3月	リニューアル案の比較検討の共通認識	リニューアル案の 比較検討資料完成



## 6. その他（事務連絡等）

## 6. その他（事務連絡等）







<https://www.city.sado.niigata.jp/>